



重度医療的ケア者対象の
「訪問型生涯学習支援」理解推進パンフレット
～いつでも、どこでも、だれにでも、学ぶ喜びを!～
2024 年度版

重度障害者・生涯学習ネットワーク

障害者の権利に関する条約

第 24 条 (教育)

- 1 締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、障害者を包容するあらゆる段階の教育制度及び生涯学習を確保する。当該教育制度及び生涯学習は、次のことを目的とする。
(2, 3, 4, (略))
- 5 締約国は、障害者が、差別なしに、かつ、他の者との平等を基礎として、一般的な高等教育、職業訓練、成人教育及び生涯学習を享受することができることを確保する。このため、締約国は、合理的配慮が障害者に提供されることを確保する。

(平成 26 年 1 月 20 日批准)

教育基本法

- 第 3 条 (生涯学習の理念) 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

(平成 18 年 12 月 22 日公布・施行)

特別支援教育の生涯学習化に向けて

平成 29 年 4 月 7 日

文部科学大臣 松野博一

私がかねてより、障害のある方々が、この日本の社会でどうしたら夢や希望を持って活躍していくことができるかを考えてきました。その中でも印象的だったのが、特別支援学校での重い知的障害と身体障害のある生徒とその保護者との出会いです。その生徒は高等部 3 年生で、春に学校を卒業する予定であり、保護者によれば、卒業後の学びや交流の場がなくなるのではないかと大きな不安を持っておいででした。他にも多くの保護者から同様の御意見を頂きました。

これまでの行政は、障害のある方々に対して、学校を卒業するまでは特別支援学校をはじめとする「学校教育施策」によって、学校を卒業してからは「福祉施策」や「労働施策」によって、それぞれ支援を行ってきました。しかし、これからは、障害のある方々が、学校卒業後も生涯を通じて教育や文化、スポーツなどの様々な機会に親しむことができるよう、教育施策とスポーツ施策、福祉施策、労働施策等を連動させながら支援していくことが重要です。私はこれを「特別支援教育の生涯学習化」と表現することとしました。(後略)

障害者基本計画(第 5 次計画 令和 5 年度～令和 9 年度)

8. 教育の振興 (4) 生涯を通じた多様な学習活動の充実

- 障害者が生涯にわたり教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しむことができるよう、訪問支援を含む多様な学習活動を行う学びの場やその機会を提供・充実する。[8-(4)-5] (令和 5 年 3 月)

ご挨拶

「訪問カレッジ」（訪問型生涯学習支援事業）は、開設約10年後の今、学校卒業後の進路先と位置付けられるようになりました。当初その学びの場は、小さな線香花火のようでしたが、一つ一つの灯が、次の場に受けつながられて、その灯が増えていきます。今では、打ち上げ花火のように、学ぶ喜びが笑顔となって、燦然と輝き始めていると思えるほどです。その笑顔は、かけがえのない笑顔として、「訪問カレッジ」の事業の意義を示しています。

しかしながら、まだまだ、障害が重くても、もっと学びたい、続けて学びたい、という方が多いのが実状です。この願いや希望に応えるには、運営面での課題が多すぎます。その改善のためには、何らかの形での法制度化が必要です。その実情を知っていただき、共にこの事業を推進できるようにするために、本冊子を作成しました。

ネットワーク化して、参加団体の数が増えてきました。新しく始めたいという声も、聞こえています。やりたいという意志があっても、持続的な運営のために、資金面の確保の見通しが不安材料との声も強くあります。今後に向けて、私たちの願いに共感していただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年10月

飯野順子（重度障害者・生涯学習ネットワーク会長・
NPO 法人地域ケアさぼーと研究所 理事長）

「重度障害者・生涯学習ネットワーク」設立趣旨書

平成29年12月25日

生きることは、学ぶこと。 学ぶことは、生きる喜び。 生涯にわたって、学ぶ続ける喜びを！
医療的ケアを必要とする障害の重い方の多くは、在宅生活を余儀なくされていますが、心豊かな生活の実現のために、「大学に行きたい！」「もっと勉強したい！」などの「学び」を希求しています。それは、存在を懸けた声にならない叫びです。

そのような方の生涯にわたり学び続けたいという夢や願いに応えるために、私たちは、「カレッジ」等の名称を冠した学びの機会と場を創ってきました。その取り組みは、かけがえのない人生のかけがえのない「時」を、学びたいことを学ぶ「時」とすることがモットーです。そして、そのことによって、生きがいと喜びがあり、生き生きと輝く地域生活を可能にすることです。

その取り組みを約5年間継続してきましたが、一つ一つの団体としてではなく、ネットワーク化して、力を合わせ、活動を拡充していくことが必要であると考えました。

「障害者の権利に関する条約（第24条）」では、「あらゆる段階における障害者を包容する教育制度及び生涯学習を確保する」と提唱しています。更に、文部科学大臣は、「障害のある方々がそれぞれのライフステージで夢と希望をもって生きていけるよう、生涯にわたる学習活動の充実を目指すために関係部局の連携を図ること」と発出しています。

そのような時代背景の変化に鑑み、この度、下記の団体による「重度障害者・生涯学習ネットワーク」を結成し、発足することにいたしました。（以下、略）

日野市障害者訪問学級

所在地	東京都・日野市
代表	名取潮子
事業開始	1981年
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input checked="" type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体 日野市障害者問題を考える会
〒191-0042 東京都日野市程久保 3-10-27

事業の発足 1973年日野市七生中学校訪問学級の担任教員御子柴昭治先生と学級の移動教室に参加したボランティア学生の数名が発起人となり日野市広報に呼び掛けて『日野市障害者問題を考える会』が発足した。障害者の生活、教育、差別などについて考え活動が続けてきている。現在は日野市から委託を受けて「日野市障害者訪問学級」の活動を中心に活動している。

学習回数等 月に2回、1回2時間程度自宅での学習が中心だが、外出ができる人は同行する場合もある。年間65時間程度。

学習内容の例 絵本読み、書道、工作、美術、散歩、リハビリ・スポーツ、ハイキング、買い物学習、コミュニケーション支援、視線入力、プール、音楽療法、楽器演奏、音楽鑑賞、国語・算数、

活動の様子



◀遠足(東京スカイツリー)



音楽交流会▶



▼授業風景



▲修了証授与



▼体育交流会



▼学校開放プール

みなさんからのメッセージ

<p>学生の声</p>	<p>大きな音や高い音を聞くのが好きです。今日はベルハーモニーやウッドブロックを鳴らして、もりあがりました！ (山崎晴音)</p> 	<p>プール大好き♡楽しいな～(高橋寧々)</p> 
-------------	---	--

<p>ご家族の声</p>	<p>通所がお休みの日に、お二人の講師の先生から、各々月1回の訪問の授業を受けています。身体ケアを中心に、本読みや遊びを通して「気持ちを動かす」活動や、iPadを用いたコミュニケーション支援、手の操作等の活動です。最近では、あらかじめ先生が用意してくださったパンのドウを捏ねて形成し、焼きあがったパンを試食するといった活動に積極的に取り組み、楽しんでいる様子が見られます。訪問で学び8年、僅かながらも着実な変化を感じ、継続して学ぶことの意味を実感し、この先も学び続けられる環境が続くことを願っています。(保護者 久保通江)</p> <p>お休みの日は、私と息子の二人っきりで過ごすことが多く、外に出るのもスーパーに買い物に出る程度。そこにアクセントをつけてくれるのが訪問学級です。先生の訪問日は朝からソワソワ。だいぶ前から、玄関で先生が来るのを待っています。その他、体育交流会やプール、音楽会や遠足など行事もあり、親子で参加し楽しんでいます。たくさんの人との触れ合いや様々な体験をさせていただける事、心から嬉しく思います。(保護者 佐藤敦子)</p>
--------------	---

<p>学習支援員の声</p>	<p>学級生の方と音楽活動をしています。学級生の方の得意なことや好きなことから悩みながら活動を考えます。うまくいかないこともあります。じっくり音楽でやり取りできると私自身うれしい気持ちで一杯になります。学級生の方は毎回少しずつ違った顔を見せてくれ、新しい発見があるので、生涯学習の大切さを実感します。学生時代に経験したことへの集中力に感心することもしばしばです。学校で培った力を土台に、更に力を引き出すサポートができたと思います。(学習支援員 関原彩子)</p>
----------------	---

事業経営

<p>学費</p>	<p>年会費無料 (授業料 教材費は日野市からの委託料で賄っている)</p>																								
<p>学生数と</p>	<p>19名 (2024年4月現在)</p>																								
<p>医療的ケア</p>	<p>気管切開4名、人工呼吸器1名、酸素療法4名、経鼻経管1名、胃ろう9名、吸入7名</p>																								
<p>スタッフ</p>	<p>学習支援員(講師)24名 1年に1回「講師懇談会」を開催し、交流・研修している。</p>																								
<p>事業収支 (1年間)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">経常収益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年会費</td> <td>10万円 (2000×50名)</td> </tr> <tr> <td>授業料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>寄付(賛助会費)</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>経常収益計</td> <td>10万円</td> </tr> </tbody> </table>	経常収益		年会費	10万円 (2000×50名)	授業料	0円	教材費	円	寄付(賛助会費)	円	経常収益計	10万円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">経常費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給料手当</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>80000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消耗品・印刷・事務要員・支払手数料等)</td> </tr> <tr> <td>経常費用計</td> <td>10万円</td> </tr> </tbody> </table>	経常費用		給料手当	円	その他経費	80000円	(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消耗品・印刷・事務要員・支払手数料等)		経常費用計	10万円	<p>備考</p> <p>訪問学級費用は日野市から委託費で賄っている。講師・保護者・スタッフは考える会会員で会費年間2000円。会費は広報誌発行、交流会補助、遠足バス代補助に使用。</p>
経常収益																									
年会費	10万円 (2000×50名)																								
授業料	0円																								
教材費	円																								
寄付(賛助会費)	円																								
経常収益計	10万円																								
経常費用																									
給料手当	円																								
その他経費	80000円																								
(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消耗品・印刷・事務要員・支払手数料等)																									
経常費用計	10万円																								

訪問療育いるか

所在地	東京都・杉並区
代表	栗山弘子
事業開始	2011年
事業形態	①対象 <input checked="" type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 学齢(長期休業中) <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	NPO法人かすみ草 理事長 早野節子 ○多機能型放課後等デイサービス くじら ○居宅訪問型児童発達支援 いるか 〒168-0063 東京都杉並区和泉3-22-15 グランヴェール和泉101 電話：03-6265-7993 FAX:03-6265-7992 E-mail: kujira@kasumiso.tokyo HP: http://npo-kasumiso.com
事業の発足	重い障害があり、医療的ケアが必要で通園できない幼児の活動を保証する「療育の出前」を行うことを目的とし、2011年12月訪問開始。2018年9月には居宅訪問型児童発達支援(居訪児)の指定を受けた。 制度面で居訪児が使えない方には、従来どおりヘルパー派遣の形での訪問を行っている。発足時、成人への訪問依頼があり、通所になかなか行けない人、集団でなく個人のペースで活動したい人などからの要望を受けてきた。
学習回数等	1回1時間~2時間 月1回~週1回
学習内容の例	入学前の幼児の訪問・学校入学後の夏休みや冬休みなどの訪問・学校卒業後の成人の訪問体の取り組み(マッサージ・体操) / 音楽(歌・楽器等) / 見る・聞く活動(絵本・ペーパーアート、光る素材等) / 描く・作る・触れる活動(描画・いろいろな素材の感触を感じる等) / 季節のとりくみ(季節行事の物語や素材等)

活動の様子




歌と物語を楽しんだり、季節の行事でハロウィンのコスプレをしたり

これ。母の日のプレゼント。お花紙をぎゅっと握ってトントントンって作ったの



お花のペン立てを作るよ



きょうは紙粘土で工作



ポップチューブやドレミファキャットなど、いろいろな楽しい教材で活動しています

みなさんからのメッセージ

<p>学生の声</p>		<p>ウクレレやいろいろな楽器を弾いて音楽を楽しんだり、 尿素と水の化学反応で冷たいカイロを作ったり、 毎回の授業で新しい経験や、実験・発見などを楽しんでいます。</p>	
<p>ご家族の声</p>	<p>いるかを知って、月に1回2時間の訪問を受けています。通所とはまた一味違い、個別にじっくりと関わってもらっています。大好きな音楽やお話、絵を見たり実物に触れたりして楽しい時間を過ごしています。この活動を通して息子の新たな側面を発見したりしています。この活動がこの先もずっと続けられることを願っています。</p>		
<p>学習支援員の声</p>	<p>学習支援員は元特別支援学校の教員だった者が多く、障害の重い方のそれぞれに応じた学習活動を行っています。 月に1度の訪問を、ご本人もお母様も楽しみになさっています。今はなかなか外出もできない中、季節の話題や行事などを絵や画像、音を通して実感しています。ご家族にとって、お子様が幾つになっても楽しい時間を過ごし、その中で新しい顔を見せてくれたりすることは嬉しいことです。いつも学生さんの心の中を想像しながら計画を立てています。それは私の興味を広げることにも繋がります。学生さんにご家族の笑顔にこちらも支えられて、一緒になって夢に向かっていきたいと思えます。</p>		

事業経営

<p>学費</p>	<p>年会費 授業料 教材費</p>		
<p>学生数と医療的ケア</p>	<p>8名（2024年8月現在） 気管切開4名、人工呼吸器5名、酸素療法2名、経鼻経管2名、胃ろう3名</p>		
<p>スタッフ</p>	<p>学習支援員 6名 1カ月に1回「いるか会議」を開催</p>		
<p>事業収支（1年間）</p>	<p>経常収益</p>	<p>経常費用</p>	<p>備考</p>
<p>年会費 円 授業料 円 教材費 円 寄付（賛助会費） 円</p>	<p>給料手当 円 その他経費 円 （通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消耗品・印刷・事務要員・支払手数料等）</p>	<p>児童は居宅訪問型児童発達支援として給付金一回あたり11,981円より</p>	
<p>経常収益計 円</p>	<p>経常費用計 万円</p>		<p>成人は、自費等</p>

あっときりんかん 訪問カレッジ@希林館

所在地	東京都・小平市
代表	下川和洋
事業開始	2012年9月
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	NPO 法人地域ケアさぽーと研究所 理事長 飯野順子 〒187-0043 東京都小平市学園東町1丁目22-6 電話:042-403-3229 FAX:042-405-1779 Email: ccsupport@jcom.home.ne.jp HP: https://ccsupport.webnode.jp/
------	--

事業の発足	2012年9月 肺炎で気管切開をした一人の女性がきっかけ。初年度学生6名でスタート。
-------	--

学習回数等	学習回数は、月1~4回(週1回)。1回2時間。 前期(4~7月)、後期(9~2月)の単年度更新の期限無し。学生証、入学式、修了証あり。
-------	--

学習内容の例	体の取り組み(マッサージ・体操) / 音楽・音楽鑑賞、VOCAやiPadを使った音楽(作曲・演奏) / 意思伝達装置(伝の心、オペレートナビ)の活用した新聞・ホームページ・SNSの情報発信 / 本(わいわい文庫)の読書活動 / 美術制作 / 俳句作り / 英語 / 調理・裁縫など
--------	--

■訪問による学習の様子 ■オンラインによる学習の様子



▲ドラムセット(iPhoneのアプリ)で合奏



▲新型コロナウイルス感染症拡大期間の学び

■訪問カレッジ文化フェスタ

活動の様子



みなさんからのメッセージ

学生の声

私は一昨年、肺炎になって気管切開をしました。それで声を失いました。絶望のどん底に落ちてしまいました。その時、元担任の先生から声をかけてもらって「訪問カレッジ@希林館」に入りました。

家庭でできる余暇の過ごし方を教えてください。また、身体のケアも同時に行ってください。さだまさしが大好きな私のためにギターを弾いて歌って下さり、その時間はウキウキします。iPad を使ってのゲームや情報を色々勉強させてもらっています。普段は身体がきつくて辛いのですが、訪問カレッジの時間は楽しくて痛みを忘れて夢中になってしまいます。私の命が続く限り入ってみたいです。



(学生 山本利恵さん)

ご家族の声

作品づくりでは、温かい、冷たい、重い、ふわふわ、ねばねばなど初めての感触もたくさんありました。作品が一つ仕上がるたび、満足そうな笑顔と、次への期待が表情でわかります。今、息子にとって訪問カレッジは生活の一部となり、元気に授業をうけることが目標になりました。そして、新しいことへの興味、チャレンジは、「生きる力」となっています。限られた環境の中での授業展開は大変だろうな…と思いますが、これからも授業を楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。

(保護者 佐藤真弓さん)

学習支援員の声

障害のある方は、発語はなくても「ことばの世界」に生きていると思います。周りの人からの言葉かけをよく聞いています。それは生活年齢からくる言葉の積み重ねと考え、生活年齢を大切にしています。

ご家庭が協力的で、家族のあり方などを学ぶことも多く、やりがいにつながっています。「私自身の生涯学習」でもあります。

(学習支援員 石井恵子)

事業経営

学費	年会費1万円 授業料なし 教材費なし				
学生数と医療的ケア	21名(2024年7月現在) 気管切開13名、人工呼吸器11名、酸素療法10名、経鼻経管7名、胃ろう11名				
スタッフ	学習支援員24名 2カ月に1回「学習支援員打合せ会」を開催				
事業収支 (1年間)	経常収益		経常費用	備考 年間 約115万円支出超過 赤字分を他の事業で補填	
	年会費	21万円	給料手当		150万円
	授業料	0円	その他経費		1万円
	教材費	0円	(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消 品・印刷・事務要員・支払手数料等)		
	寄付(賛助会費)	15万円	経常費用計		151万円
	経常収益計	36万円			

<h1>NPO 法人</h1> <h2>ひまわり ProjectTeam</h2>	所在地	東京都・新宿区	
	代表	藤原千里	
	事業開始	2013年11月	
	事業形態	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 <input checked="" type="checkbox"/> ②学習形態 <input checked="" type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設	
事業母体	NPO 法人ひまわり ProjectTeam 代表理事 藤原千里 〒162-0813 東京都新宿区東五軒町5丁目8番 電話:090-2464-6176 FAX:03-3260-3380 Email: himawaript.smile@gmail.com HP:https://himawariptsmile.wixsite.com/himawari2010		
事業の発足	2013年、新宿区立新宿養護学校保護者有志の活動として、我が子が高等部を卒業した後の進路の選択肢を増やしたいという思いからスタート。		
学習回数等	学習回数：月1~2回。1回1~2時間。 個別学習と集合学習の選択が可能。単年度更新期限無し。個別学習受講生入学式あり。		
学習内容の例	社会：居住地域の文化歴史を学ぶ／体育：ハンドサッカー・ダンス／音楽：音楽療法／理科：植物の観察と生態を学ぶ／美術：創作／俳句作り／英語／など		
活動の様子	■訪問学習 		■訪問学習受講生がオンラインで集合学習の音楽療法に参加する様子 
	■集合学習 ▼ハンドサッカーの練習 	▼音楽療法 	

みなさんからのメッセージ

受講生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり HomeCollege がいつも楽しみです。（E Tさん） ・勉強が楽しいです（MFさん）
ご家族の声	<p>表出が困難な娘が、声を出して先生を呼べるようになったのは小学4年生の時です。高校卒業時には、声の使い分けて自分の感情を伝えるようになりました。ゆっくり少しずつ出来ることを増やしていく娘を見て、学びを続けたいと思い、ホームカレッジに参加しました。カレッジでは、本人の自信につながる得意分野ができるよう、継続して植物学に取り組んでいます。障害特性に応じた教材で、集中して学習に取り組んでいます。いつもと違う真剣な表情で植物標本に取り組む娘を見ると、興味を広げ成長し続けていることを実感します。</p> <p>体調により外出が困難な時も、先生が自宅に来てくれることで、家族以外の人や社会とつながりをもつことができている。今後も活動が充実することを期待します。（E Tさん母）</p>
学習支援員の声	<p>発声で意志を伝えるなど学校教育で培ってきた発信力を生涯学習でより伸ばし充実した学びの場を作ればと、「植物学」をテーマに近隣の公園を散策し、幹に触れたり、季節の陽ざしや風を体感する外出版。葉や花や実の特徴を触覚、聴覚、視覚、嗅覚を通しじっくり観察する室内版を合わせています。ネズミモチ、クチナシ、百日紅、多様な出会いに口の動き目の動きの違いがあり、その発信をお母さまと共に捉えながら試行錯誤の繰り返しです。</p>
ボランティア学生の声	<p>※ひまわり HomeCollege では人材育成の位置付けで医療系の学生を積極的に受け入れています。</p> <p>大学1年生の頃、「ひまわり HomeCollege」でボランティアを始め、障がいを持つ同年代のメンバーと出会いました。次第に、ボランティアではなく彼らは一緒に活動を楽しむ友人になりました。大学でひまわり HomeCollege を紹介すると、多くの学生から参加希望の声があがりました。皆、知らない世界で、一緒に活動できることに喜びを感じています。私たち大学生が様々なサークルに所属し友情を深めお互い支えあっていくことができるように、ひまわり HomeCollege も生涯学習を通して、様々な人との交流が彼らの生活を豊かにしていくと思います。障がいの有無を越えた交流の場は、学生にとっても大切なことです。私は学生が参加しやすい環境を作りたいと思い、学生団体を立ち上げました。ひまわり HomeCollege のような活動を多くの学生に知っていただきたいと思っています。（医大3年生HIさん）</p>

事業経営

学費	年会費 3,000 円 授業料：1,500 円／1 回 教材費なし		
学生数と医療的ケア	9 名（2024 年 7 月現在） 気管切開 3 名、人工呼吸器 3 名、酸素療法 4 名、経鼻経管 2 名、胃ろう 3 名、腸ろう 1 名		
スタッフ	学習支援員 7 名 適宜学習支援員打合せを行う		
事業収支（1 年間）	経常収益	経常費用	備考
	年会費 2.5 万円	講師謝金 21 万円	赤字分は他事業へ振り分け ている寄付（賛助会費）を充当
	授業料 11 万円	ボランティア謝金 10.5 万円	
	助成金（社協） 17.5 万円	その他経費 8.5 万円	
	寄付（賛助会費） 5 万円	（通信・保険・消品・印刷・交通費・支払手数料等）	
経常収益計 36 万円	経常費用計 40 万円		

訪問大学おおきなき

所在地	東京都・大田区
代表	相澤純一
事業開始	2014年4月
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体 NPO 法人訪問大学おおきなき 〒146-0092 東京都大田区下丸子 4-18-12
 メールアドレス) taiju06wa01@b07.itscom.net FAX: 03-3758-3391
 HP) http://home.v07.itscom.net/ookinaki/

事業の発足 特別支援学校を卒業予定のYさんは、頻発する発作のため、施設などに通所することは難しく、先生が彙をもつかむ思いで進路先を探していました。そのままでは、ベッド上での閉ざされた長い在宅生活をスタートせざるを得なかったからです。先生は、2012年に本格的に訪問型の生涯学習を始めていた多摩地区の訪問カレッジの門をたたきました。その時紹介されたおおきなきに一縷の望みをかけて訪ねてこられた先生の熱意に打たれ、Yさんを1人目の入学生として、2014年4月に訪問大学おおきなきを立ち上げました。

学習回数等 1ヶ月に1~3回 1回2時間以内
 4年制・生涯学習コース（4年制のあと希望される方は生涯学習コースとして継続）
 4年制では入学式、卒業式を行う。各学年の最後の授業では修了式を行う。

学習内容の例 音楽療法、創作活動、楽器演奏、英語の学習、視線入力で演奏・絵画、年中行事体験、俳句作りやベッド上での調理、社会体験活動、文学、絵本や詩の鑑賞、iPadやスイッチを使った活動など、一人一人のニーズに応じた授業をしています（「ookinaki8354」で検索していただくと、YouTubeの動画で授業の様子を見られます）

活動の様子



■英語の音楽を聴く



■大学生との交流



■文化祭での発表
動いているボールを蹴る



■入学式



■音楽療法



■本を読む



■授業見学にて
指文字で交流

みなさんからのメッセージ

学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーブたのしかったです。 ・電車に乗りたい ・うた たのしい。 ・英語もしたい。
ご家族の声	<p>・マイトビー（視線入力装置）との最初の出会いは、特別支援学校在学中でした。その時は、目を上手に動かさず、すぐに諦めてしまいました。画期的な最新機器もこの子には使えないのだとがっかりした思い出のあるマイトビーに訪問大学で再び出会った当初は、あまり期待しておりませんでした。しかし、回を重ねていく度に目の動く範囲が広がり、今では自分の選んだ色で画面いっばいに描けるようになりました。何事もすぐ諦めてしまい長続きしなかった子が、視線入力の授業では1時間以上集中して取り組めるようになり、その成長に驚いております。（生涯学習コース7年生）</p> <p>・今までは、娘の気持ちは家族にしか分からないと思っていたのですが、諦めずに聞いてくださる先生方に答えている姿があり感動しました。あまり外出していなかったのですが、トーキングエイドで、しっかりと切実に外出したいと伝えてきたことで、思い切って外出することができました。また、お化粧や着替えもしていなかったのですが、本当はしたかったのだと伝えてくれ、驚きました。21歳の女性の生活をさせようと反省しました。帝京大学の学生さんが来てくださったときも「友達♡友達♡」とハイテンションでした。姉妹だけでなく同世代の人たちとの交流も必要なのだと感じました。（卒業生、2018年に旅立つ）</p>
講師の声	<p>・彼らが紡ぎだすその一音一音から生命があふれる。『ぼく、私はここにいるよ』とその息づかいが空気の中に、音の中に流れ伝わってくる。そして私はその想いを大事に大事に受けとり、私の音で消さないように全身全霊で丁寧に応えていく。『今ここで』互いに生（なま）の自分で交流するけれど、その中に過去の自分も未来の自分も含まれる。私は、その生命の交流にまた今日も元気をもらい、明日を生きていく。（音楽療法の講師）</p>



事業経営

学費	正会員費 年 3,000 円 授業料 1 回 1,500 円 教材費なし（必要に応じて実費の場合あり）		
学生数と	13 名（2024 年 8 月現在）		
医療的ケア	気管切開 9 名、人工呼吸器 7 名、酸素療法 5 名、経鼻経管 2 名、胃ろう 7 名		
スタッフ	講師 10 名 年に 1 回「講師連絡会」を開催		
事業収支 (1 年間)	経常収益	経常費用	備考
	授業料 22 万円 会費（正会員・賛助・団体） 40 万円	講師料・交通費 90 万円 その他経費 10 万円 （通信運搬費・諸会費・保険料・消耗品・印刷・支払手数料・教材費等）	不足分は、寄付や外部支援の講師収入等で補填している。
	経常収益計 62 万円	経常費用 100 万円	

ほうもんじぎょう
訪問事業

あい ぽ る と
i . porte

所在地	神奈川県・川崎市中原区
代表	岡安 玲
事業開始	2017年4月
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	NPO法人あいけあ 〒211-0036 川崎市中原区井田杉山町8-21 電話:044-767-8285 FAX:044-767-8285 Email: okayasu-66@icare-carepy.com HP: https://www.icare-carepy.com/ Facebook: https://www.facebook.com/momonpy/
------	--

事業の発足	2017年4月に、特別支援学校の訪問教育を卒業した方3名を対象に、モデルケースとして開始。同年10月にNPO法人化し、事業を継承。
-------	---

学習回数等	一人につき月1~3回、2時間程度。 教員ボランティアや施設事業所スタッフが1~2名で訪問。
-------	--

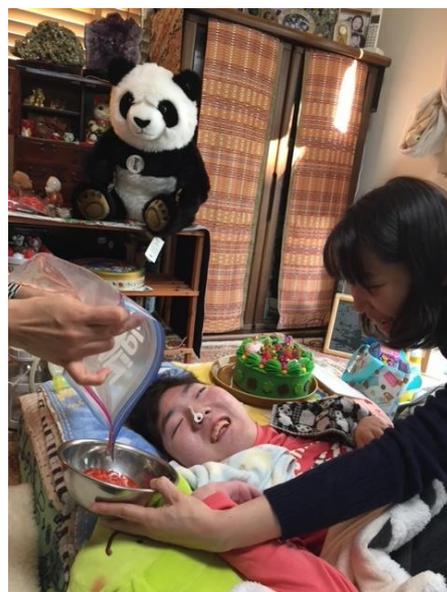
学習内容の例	<p>障害の重い人たちには、本人主体の生活を楽しみ、命を輝かせるような取組が必要です。学校時代のたくさんの経験を踏まえ、音楽や美術などの表現活動、運動プログラム、外出や人とかかわる活動など、「生涯療育」の視点で組み立てたプログラムを用意しています。</p> <p>実施スケジュール(例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>日付</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月22日(土)</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>5月13日(土)</td><td>ポッチャ・ダンス・母の日プレゼント</td></tr> <tr><td>3</td><td>6月10日(土)</td><td>野菜スタンプの団扇作り</td></tr> <tr><td>4</td><td>7月22日(土)</td><td>ワイン作り・踊るスピーカー</td></tr> <tr><td>5</td><td>8月26日(土)</td><td>ワインのラベル作り</td></tr> <tr><td>6</td><td>9月16日(土)</td><td>毛糸のタマネギ&紅茶染め・デンセンマン・ギター演奏</td></tr> <tr><td>7</td><td>10月22日(日)</td><td>ポンポンのハロウィン飾り・よさこい踊り</td></tr> <tr><td>8</td><td>11月18日(土)</td><td>フェルトボールのリース作り・サクソ演奏・パラシュート</td></tr> <tr><td>9</td><td>12月10日(日)</td><td>音楽・オカリナ姫</td></tr> <tr><td>10</td><td>1月21日(日)</td><td>デンセンマン・ギター演奏</td></tr> </tbody> </table>	回数	日付	活動内容	1	4月22日(土)	オリエンテーション	2	5月13日(土)	ポッチャ・ダンス・母の日プレゼント	3	6月10日(土)	野菜スタンプの団扇作り	4	7月22日(土)	ワイン作り・踊るスピーカー	5	8月26日(土)	ワインのラベル作り	6	9月16日(土)	毛糸のタマネギ&紅茶染め・デンセンマン・ギター演奏	7	10月22日(日)	ポンポンのハロウィン飾り・よさこい踊り	8	11月18日(土)	フェルトボールのリース作り・サクソ演奏・パラシュート	9	12月10日(日)	音楽・オカリナ姫	10	1月21日(日)	デンセンマン・ギター演奏
回数	日付	活動内容																																
1	4月22日(土)	オリエンテーション																																
2	5月13日(土)	ポッチャ・ダンス・母の日プレゼント																																
3	6月10日(土)	野菜スタンプの団扇作り																																
4	7月22日(土)	ワイン作り・踊るスピーカー																																
5	8月26日(土)	ワインのラベル作り																																
6	9月16日(土)	毛糸のタマネギ&紅茶染め・デンセンマン・ギター演奏																																
7	10月22日(日)	ポンポンのハロウィン飾り・よさこい踊り																																
8	11月18日(土)	フェルトボールのリース作り・サクソ演奏・パラシュート																																
9	12月10日(日)	音楽・オカリナ姫																																
10	1月21日(日)	デンセンマン・ギター演奏																																

活動の様子	 <p>◀ ゴッホの「ひまわり」</p>	 <p>▼施設通所と併用して豊かな生活を!!</p>
	 <p>▲ i.porte のヒーローデンセンマン登場</p> <p>◀ オカリナ演奏を聴く</p>	

みなさんからのメッセージ

スタッフの 声

在学中、訪問教育で学校に登校して教育を受けるよりも短い時間ながらも、「おもしろいね!」「これ楽しい!」「もっとやってみたい!」「知りたい!」と表情や身体の動きで目いっぱい表現し、それを受け取る保護者や教員がそれに応え、充実して楽しい時間をたくさん過ごした卒業生。“学校の時と同じように”“社会人になったからこそ、さらに”みんなの「やりたい!」気持ちを実現できる場がほしい!!卒業生、保護者、担任みんなの「あったらいいな!!」の思いから、あいけあの訪問事業 i.porte はスタートしました。i.porte ではメンバーさんの意欲と笑顔!そして時には生活介護事業所 i.care への通所!とメンバーさんの自宅での活動に留まることない活躍に、スタッフ一同胸を躍らせています!



活動ボラン ティアの声

縁があって巡り合えた方々と、ただ長く繋がってほしいという思いが始まりです。もちろん、個人的なつながりも嬉しいですし、たまに連絡をとって遊びに行くことが当たり前が続くだけでも、幸せだなと思っています。ただ、学生時代に繰り返しや積み重ねが大切だと学んできた方々にとって、卒業後も同じように積み重ねられる環境が必要なのではと思うのです。それが、対個人だけではなく『色々な人と一緒に』ということになれば、より深い学びになります。相手によって変わる表出を見て、お互い、豊かな時間が積み重なっているなど実感しているところです。『所属をする』ということに、意欲を高めてくださる方もいます。ご本人、ご家族の大切な一瞬の中に混ぜていただけることが、私の贅沢な趣味であり、学びの場です。



事業経営

学費	なし				
学生数と 医療的ケア	3名(2024年月現在) 気管切開、人工呼吸器、酸素療法、経鼻経管、胃ろう				
スタッフ	主スタッフ2名 法人内の障害者支援施設からスタッフ派遣することもあり				
事業収支 (1年間)	経常収益		経常費用		備考 法人内の障害福祉サービス 事業の経費で賄っているため 個別の事業として計上して いません。
	年会費	0円	給料手当	0円	
	授業料	0円	その他経費	0円	
	教材費	0円	(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消費 品・印刷・事務要員・支払手数料等)		
	寄付(賛助会費)	0円			
	経常収益計	0円	経常費用計	0円	



在宅訪問学習支援事業 「SHJ 学びサポート」



所在地	東京都・杉並区
代表	松本恵里
事業開始	2018年4月
事業形態	①対象 <input checked="" type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input checked="" type="checkbox"/> 通所 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	認定 NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン 住所：〒168-0064 東京都 杉並区永福 4-1-91-B 電話：03-6379-0028 Email：info@smilinghpj.org SHJHP：http://smilinghpj.org/ SHJ 学びサポート HP：https://shjmanabisupport.org/wp-manabi/
事業の発足	2018年4月に、東京都立永福学園肢体不自由教育部門高等部卒業生2名、学習支援ボランティア1名によりスタート。
学習回数等	・1人につき月1回 1回90分程度
学習内容の例	基礎学習：教科学習の土台となるもの。探索・操作、手段-目的、弁別、構成学習など 意思伝達支援：状況把握や受信・発信手段の確保を支援する。 教科学習：一人一人の興味や関心にあった教科の学習を提供する。算数、国語、美術、音楽、情報など
活動の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■手作り教材教具による基礎学習</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>■支援機器の活用</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>■音楽</p>  </div> </div> <p>■美術</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

みなさんからのメッセージ

<p>学生の声</p>	<p>ご本人たちの言葉を聞き取る手段を支援者側がまだ獲得していないのですが、学習中の様子から貴重な学びの時間として「学びサポート」を毎回楽しみにしていることが伝わってきます。</p>
<p>ご家族の声</p>	<p>「学びサポート」のユニバーサル算数セットは、厚みがあるので手のひらで掴む事ができる！大きいので視覚にも入りやすい！重さもあるから身体で感じる事ができるのかも！と、改めて「学びサポート」の教材の凄さを実感しました。</p> <p>今は、一緒にプリントを楽しめる喜びを感じています。子どもの出来る楽しいの気持ちは親も同じでした。親子で「学びサポート」を楽しみにしています。「学びサポート」の教材で、息子が自分の可能性にもっともっと挑戦していってくれることを願っております。</p> <p>(Oさんのお母様)</p>
<p>学習支援員の声</p>	<p>■ 身体が自由に動かせなかったり言葉がうまく発せなくても、たった一つの和音でこんなに多くの事を伝えられるという発見は、私にとっても貴重な経験でした。改めて音楽の懐の深さに感謝です。これからも、彼らが自信を深め、好奇心を広げていけるようサポート出来たらと思っています。 (学習支援員I.K.)</p> <p>■ 「SHJ 学びサポート」が目指す「学び」とは、なりたい自分になるため自主的に学ぶ事だと思います。基礎学習以外にも、いろいろな「学び」の可能性を秘めています。「SHJ 学びサポート」は、障がいをお持ちのお子さんの「学び」を支援するシステムです。まだまだ、か弱い存在ですが、いつか全国に広がるように共に努力していくつもりです。 (学習支援員Y.S.)</p>

事業経営

<p>学費</p>	<p>年会費 <input checked="" type="checkbox"/> 授業料 教材費</p>				
<p>学生数と医療的ケア</p>	<p>17名 (2024年8月現在) 気管切開6名、人工呼吸器3名、酸素療法4名、経鼻経管3名、胃ろう9名</p>				
<p>スタッフ</p>	<p>学習支援員7名 (特別支援学校教員2名、大学講師1名、音楽・美術系プロのアーティスト3名、言語聴覚士1名)</p>				
<p>事業収支 (1年間 2022度)</p>	<p>経常収益</p>		<p>経常費用</p>		<p>備考</p>
	<p>年会費 0円</p>	<p>給料手当 673,849円</p>			
	<p>授業料 115,000円</p>	<p>円</p>			
	<p>助成金 1,640,000円</p>	<p>その他経費 1,572,180円</p>			
	<p>寄付 550,000円</p>	<p>(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消 品・印刷・事務要員・支払手数料等)</p>			
<p>経常収益計 2,305,000円</p>	<p>経常費用計 2,246,029円</p>				

みんなの大学校

所在地	東京都・国分寺市
代表	引地達也
事業開始	2020年4月
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	一般社団法人みんなの大学校 〒185-0011 東京都国分寺市本多 2-1-4
------	--

事業の発足	特別支援学校卒業後の学びの場の提供を集合型で行っていたが、新型コロナウイルスによる「情報格差」とコミュニケーションの断絶する状況の解決に向けて、オンラインによる学びを提供する事業体として発足した。
-------	--

学習回数等	前期（4-7月）、後期（10-1月）で毎週各15回の講義を提供。2024年度前期は5講義、後期は6講義。登録学生の自宅及び通所施設への訪問も組み合わせている。
-------	---

学習内容の例	2024年度前期のオンライン講義科目一覧：「メディア論」（担当・引地達也）、「音楽でつながろう」（週替わりでアーティストが出演、案内・引地達也）、「障がいと物語」（担当・山本登志哉）、「経済とくらし」（担当・内村治）、「禅・マインドフルネス」（西田尚司）。受講はどの講義でも可能。重症心身障がいの方は「音楽でつながろう」に個人宅や通所施設等から参加し、講義には約70名が参加している。
--------	--

活動の様子





2024年度後期 インクルーシブな学びの場
文部科学省学校卒業後における障害者の学びの支援推進委託研究事業

「おながくでつながろう」
講座のお知らせ（全15回）

だれもが、どこでも学べる講座です。重度障がいや知的障がい、精神障がいの方、施設単位やご自宅から出られない人など、お好きな場所と一緒に学び合いきましょう。

日時 音楽家
10月1日 奈月れい/河野彰
10月8日 サム
10月15日 瀬戸山智之助
10月22日 次郎丸智希
10月29日 悠光
11月5日 奈月れい/河野彰
11月12日 サム
11月19日 瀬戸山智之助
11月26日 トンカラボンガ
12月3日 奈月れい/河野彰
12月10日 サム
12月17日 瀬戸山智之助
12月24日 飯塚朋子
1月7日 奈月れい/河野彰
1月14日 サム

開催期間：2024年10月～2025年1月（毎週火曜午前11時～11時50分）全15回
講座内容：毎週プロの音楽家とともに音楽を通じての学びがあります
ファシリテーター：引地達也みんなの大学校学長 / フェリス女学院大学准教授

講義はズームを使ってオンラインで行います。お気軽にお問合せください。明日

主催：一般社団法人みんなの大学校
問い合わせ：070-3166-1616

MINDAI みんなの大学校

左上：オンライン講義の様子
左：オンライン講義の仲間が集まって作詞をし、コンサートで歌手とともに作品を発表した
上：2024年度後期の音楽講義表

みなさんからのメッセージ

<p>学生の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで知らなかったたくさんのことを楽しく教えていただいた。 ・知っていることもあったが、知らない海外や地方の音楽を詳しく勉強出来たから。 ・音楽はとてみたいせつだなと思った。 ・メロディーは知っていたが、曲名がわからない曲を授業の中で知ることができた。 ・自分の知らない曲などがたくさんあって、いろいろな曲を知ることができて勉強になった ・呼吸にはいろいろな呼吸があることを学べた。 ・音楽が持つ力を学ぶことができた/・とても勉強になりました。 ・音楽で勇気をもらったり、アニメの曲をきくことができた。 ・さまざまな世代の音楽を知れた/知らない曲だらけだった/歌で元気をもらえればいい。 ・登場する曲の歌詞の意味を、先生が分かりやすく解説して下さい、曲の効果を教えて下さったので、勉強になりました。
<p>ご家族の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方がとても熱心に優しく接して下さる姿に感動しました。音楽の持つリラックス効果をみんなで感じる時間だったと思います。 ・音楽をテーマにしているので、誰でも親しみやすく、講師の方もメインの方が軸となり、他の回ではいろいろな講師の方が参加されたり、構成も非常に良かったです。 <p>音楽を通してのすばらしさ、言葉をつないでいく楽しさ、曲のおもしろさや、他の施設のみなさんなどにリモートを通してかわり合いが持てることは、とても関心が広がり、利用者さんの中にはこの授業を心待ちにしている方もいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害レベルの差が大きいので、すべて楽しめる人（理解できる人）ばかりではなかったが、「聴く」ということでは全員参加できてよかった。
<p>学習支援員の声</p>	<p>サーム：生徒の皆さんとの距離も縮まり、より密度の濃い関係性の中で授業できました。</p> <p>奈月れい：皆様積極的に受講して下さい毎回楽しい時間となりました。音楽を通じて各々の思いを共有し合う場となり、皆様の新たな視野が広がったと思います。曲の成り立ちや時代背景もお伝えし、音楽を通じて日本、世界の社会・歴史にも触れることができその曲に対する深みが増したと思います。</p> <p>瀬戸山智之助：参加者もどんどん増え広まっているのを実感し嬉しく思っています。参加者への質問タイムも増え、親密にコミュニケーションを取れるようにもなりました。</p>

事業経営

<p>学費</p>	<p>授業料は設定しているが、就労継続B型事業等を組み合わせて無料措置を講じている</p>			
<p>学生数と医療的ケア</p>	<p>5名（2024年7月現在）※各事業所の連携による聴講生は100名以上と推測 気管切開、人工呼吸器、酸素療法、経鼻経管、胃ろう</p>			
<p>スタッフ</p>	<p>みんなの大学校教授・准教授・研究員10名、本部スタッフ4名</p>			
<p>事業収支（1年間）</p>	<p>経常収益</p>	<p>経常費用</p>		<p>備考</p>
	<p>学びに関する事業は文科省からの委託研究費</p>	<p>給料</p>	<p>150万円</p>	<p>福祉サービス事業費、各種業務委託費、文科省研究委託費等の収入で運営</p>
	<p>経常収益計</p>	<p>200万円</p>	<p>経常費用</p>	

訪問カレッジ Enjoy かながわ



所在地	神奈川県・横浜市
代表	成田裕子
事業開始	2019年4月
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	NPO 法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 理事長 成田裕子 〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2 電話:045-311-8742 FAX:045-324-8985 Email: jimukyoku@kenshikyou.jp HP: https://www.kenshikyou.jp/
------	---

事業の発足	2018年9月特別支援学校訪問教育高等部3年生の学び続けたい想いに応え、2名から発足
-------	--

学習回数等	カレッジ生のニーズ等を考慮して、月1~4回(週1回) 1回1~2時間
-------	------------------------------------

学習内容の例	【健康・身体】身体のおふれあい【自然科学】生活に身近な実験・植物・宇宙・気象【文化・芸術】器楽演奏・鑑賞・文学絵本等読み聞かせ・外国語・絵画・版画・粘土・鑑賞・工芸・染色・調理・縫製・製作【コミュニケーション支援】ICT機器等の活用【時事問題・経済】
--------	---

活動の様子

▲入学式
家族でお祝い。母手作りのカレッジの旗
ゴッホの模写 2か月かかった大作!▶

◀ゲストティーチャー
(オカリナ演奏)

▲退院して
カレッジ再開♪

◀バイオリン演奏

▲大学生とのかかわり▶

▼年に2回朝市に出店
(4月と10月)

みなさんからのメッセージ

学生の声	<p>僕は2020年に特別支援学校を卒業してカレッジに入学しました。鉄道やプラレール、リラックマが大好きで集めて飾っています。カレッジでは、幸地先生と制作をしています。今までにリラックマの家族人形や、その家族が乗り込める京急の南太田駅を制作しました。昨年からシーサイドラインの「金沢八景駅」を制作。正確に作りたいので駅に行き行ってタブレットで写真をたくさん撮りました。写真を見ながら、駅舎やホームの形や大きさ、配置や材料を決めています。僕が使いやすいように工具や材料を先生が色々持ってきてくれ、工夫して使っています。材料の切断やペイントは、「うまいね」「いいね」と褒められています。階段やエレベーター、案内板など作りたいものが次々浮かび、カレッジの時間が待ち遠しい。（菊川拓海さん）</p>	
ご家族の声	<p>学校を卒業するまで特別支援学校の訪問籍だった娘。毎回サンタさんのように教材を持ってきてくださる先生との授業は、外の社会とつながる世界で、楽しい時間でした。感情の表出が少ない娘の些細な変化も汲み取っていただき、いろんなことに挑戦して、できる事も少しずつ増えていきました。卒業してしまったら学びの場もなくなってしまうのかと残念に思っていたころ、知人から訪問カレッジのお話を聞き、引き続き我が子の成長を間近で見守れるならばと、お願いすることにしました。娘は人と関わることが好きなので、カレッジの授業も楽しんでいるのではないかと思います。現在、訪問カレッジは月2回。生活介護施設には週2回通っています。ではその他の日はどう過ごしたら良いのか?と思った時、一緒に何かしたい、折角なら学校で学んだことを活かしたい、と考えました。そして、卒業時に先生方やお友達にプレゼントをした経験をもとに、スイッチを使ってミシンを動かし、巾着袋などを作って売ることになりました。腕を動かして絵を描くことも好きなので、アート作品などにも挑戦したいです。今後も学ぶことを楽しみながら、地域とつながりを持った活動ができればいいと思っています。（保護者 菅野志保さん）</p>	
学習支援員の声	<p>Kさんやママと一緒に楽しめる活動を探りながら月に1回の訪問。過去4回「大きなカブ」の劇に取り組んできたが、役割も進行もわかり、みんなで演じることを楽しめたようだったので、今度は「桃太郎」に挑戦することにした。初回に「桃太郎」を読み聞かせていたら、目を閉じてしまった。「眠くなっちゃったかな?」と声をかけたら、ママが「知っている話と少し違うなあと考えていると思う」と。なるほど!確かに!思案気で真面目な顔つきだ。明るく楽しいだけではないKさんをもっと深く理解できるようになりたい。次の訪問日が楽しみ。（学習支援員 瀬戸ひとみさん）</p>	

事業経営

学費	年間授業料（教材費を含む） 5,000円		
学生数と医療的ケア	23名（2024年7月現在） 気管切開 17名、人工呼吸器 10名、酸素療法 7名、経鼻経管 0名、胃ろう・腸ろう 18名		
スタッフ	学習支援員 24名 1年に1～2回「支援員全体打合せ」を開催。常時LINEで情報共有。		
事業収支 (1年間)	経常収益	経常費用	備考
	授業料 115,000円 各助成金 900,000円	謝金 648,000円 交通費教材費等 831,210円	*学習支援員の半数が、謝金を辞退（ボランティア） *不足分は法人負担
	経常収益計 1,015,000円	経常費用計 1,479,210円	

<h2>訪問カレッジ・オープンカレッジ @愛媛大学</h2>	所在地	愛媛県・松山市
	代表	仁科弘重
	事業開始	2019年
	事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> ①対象 <input checked="" type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 <input checked="" type="checkbox"/> ②学習形態 <input checked="" type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設
事業母体	国立大学法人 愛媛大学 〒790-0855 愛媛県松山市持田町1-5-22 愛媛大学教育学部附属インクルーシブ教育センター TEL：089-913-7883 Mail：houmon.college.eu@gmail.com	
事業の発足	重症心身障害のある方やご家族からの、学校卒業後にこれまで学んできたことができなくなるのは残念だという声を聞いて、愛媛県でも重度でも参加できる「学びの場所」をつくることを目的に発足。	
学習回数等	学習回数は1~2ヶ月に1回。1回1時間程度。学生証あり。	
学習内容の例	<訪問カレッジ> 制作活動（砥部焼の絵付け・陶芸・粘土細工・レジンなど）／音楽・鑑賞、楽器遊び／読書 ICT機器を使った活動（スイッチ遊び・視線入力装置）など <オープンカレッジ> スポーツ体験／地域の伝統産業体験など	
活動の様子	■訪問カレッジ   	
	■オープンカレッジ  	

みなさんからのメッセージ

<p>ご家族の声</p>	<p>『訪問教育の現場⑩』『うわっ！回る回る！』『これは大惨事か〜』昨今、まさに多いとしか言いようのない、災害の災害の中継のようですが、数ヶ月前に受けた愛媛大学訪問教育の現場の状況であります。この日は、砥部焼の絵付けをするぞよとお聞きしておりましたが、担当の先生の考案製作して頂いた『自動絵付けマシン』（名前不明）の勢いが、あまりにもスゴスキでございました。周りの大人達が騒いでいる中、大地はいつものようにのほほん〜と、逆に穏やかに見守るがとくなく反応。そして、楽しそうな私たちの声を聞いてにこやかに事態を納めてくれました。もちろん、賑やかなだけの授業ではなく、大地の手の力を発揮するのをじっと待っていただいででの絵付けマシン作業。その他、細やかなセンサーのお返事マシン、や音楽の演奏などの授業もあります。ほんの少しの手の力加減をセンサーで拾って、毎回毎回調整が大変だろうなど、頭が下がる思いです。機械的手助け以外にも、現役の愛媛大学の学生さんがいらして、生のバイオリンを演奏していただいで事もあります。</p> <p>母は隣で、生音に感動しながらスマホ片手のカメラマン状態でしたが、視力に障がいのある大地ですが、ひとりひとりの特性に応じての授業なんだろうと推測しております。大地がたくさんの人とふれあって、そして大地の事を理解していただいている人がいる…と実感しております。これからも、この愛媛大学訪問教育、出来るだけ参加させて下さい。ありがとうございました。（ 恵美須 大地 真紀（母））</p>	
<p>ご家族の声</p>	<p>今年で20歳を迎える息子は、支援学校高等部3年生の時に、訪問カレッジに出会いました。ちょうど、卒業後の進路先として、どの生活介護事業所に行こうかと考えていた頃でした。それまでの12年間で、支援学校で学んできたことや経験してきたことを継続してさらに学びを深めていける場があればいいのに…と思っていたところだったので、訪問カレッジの情報を得た時には、その願いが叶ったような気がして、とても嬉しく希望を感じました。</p> <p>訪問カレッジの授業では、先生方が子どもに寄り添った内容を考え、たくさんの準備をしてくださり、五感を使って様々な経験ができるよう工夫されているので、私も息子と一緒に参加しながら、毎回、とても楽しく充実した時間を過ごしています。また、日常生活の中では気が付かないような息子の小さな反応や表情を汲み取り、それを引き出してくださいることで、私自身にとってもたくさんの気付きを与えられています。そして、オープンカレッジにおいては、県外から参加された受講生やそのご家族と知り合うことができたり、普段ではあまり経験できないようなeスポーツにも挑戦したりして、刺激いっぱいイベントに参加させていただいています。</p> <p>これからも、ゆっくりと自分のペースでいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。（正木美由紀）</p>	
<p>学習支援員の声</p>	<p>色々な方たちと出会ってきた「今まで」と、期待を込めた「これから」のお話をご家族の方から伺えることが楽しみの一つです。愛されて育った方は愛されて育った瞳をもっていらっしやることをいつも実感します。「私も出会いや笑顔を大切にしていきたい」と、そう思わせてくださるのがこの訪問カレッジの活動です。ワクワクすること、好きなこと、同じ時を過ごすこと。何がいいのか。どうすればいいのか。一緒に探していきたいです。（安藤久恵）</p>	

事業経営

<p>学費</p>	<p>年会費なし 授業料なし 教材費なし</p>				
<p>学生数と医療的ケア</p>	<p>18名（2024年8月現在） 気管切開4名、人工呼吸器3名、酸素療法1名、経鼻経管・胃ろう11名</p>				
<p>スタッフ</p>	<p>学習支援員24名 研修を実施（養成講座・フォローアップ講座等）</p>				
<p>事業収支（1年間）</p>	<p>経常収益</p>		<p>経常費用</p>		<p>備考</p>
	<p>経常収益計 720万円</p>	<p>経常費用計 720万円</p>	<p>文部科学省等の委託事業費にて運営</p>		

東京こどもホスピスプロジェクト	所在地	東京都・昭島市
	代表	佐藤良絵
	事業開始	2019年
	事業形態	①対象 <input checked="" type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input checked="" type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設
事業母体	〒196-0015 昭島市昭和町5-10-16 森高ビル2階の内北側	
事業の発足	生命を脅かす病気を持つ子どもとその家族の支援に関心のある市民に対して、専門病院や教育機関を始めとする様々な期間と連携し、子どもとその家族の生活を向上させ、良きパートナーとなって支援できるよう、小児緩和ケアに関する人材育成や啓発事業を行い、すべての子どもが子どもらしく生きる権利を保障することに寄与することを目的として発足した。	
学習回数等	ドリームルーム：3箇所ですべて月に延べ約15回実施。 学習支援：東京都の委託（小児慢性特定疾病児童対象の自立支援事業）を受けて実施。都の委託事業の対象とならない対象者にも学習支援を実施。 上記を併せて、令和6年9月現在対象者は実人数で〇名。	
学習内容の例	ドリームルーム：おもちゃ遊び（木レール、音の出るおもちゃ等）、ゲーム（魚釣りゲーム等）、創作活動（楽器づくり、万華鏡づくり）、ダンス、イベント（秋まつり、ハロウィン、クリスマス等） 学習支援：学校教材やテキストを用いての学習（重さや時間、漢字、算数、数学、理科）、運動、音楽の歴史等	
活動の様子	<p>【ドリームルーム】地域の医療機関や企業の施設の一室をお借りして、毎月定期的に行っています。また、秋まつりやクリスマスなどのイベントも行っています。</p>  <p>地域のクリニックでは予防接種後お子さんがドリームルームに参加され、自分の好きなおもちゃで遊んだり、ご家族から育児の様子を伺ったりしています</p> <p>【学習支援】 東京都の小児慢性特定疾病のこどもの自立支援事業の委託を受けて実施している方と、それ以外に自立支援事業の対象とならない高校生や他の地域の方もご相談に応じて支援しています。</p> 	

みなさんからのメッセージ

<p>学生の声</p>	<p>ダンスでポーズを決めるぜ！</p>   <p>秋まつりでボーリング、的あて 魚釣りゲームを楽しんだ オリンピックで金メダルをゲット！</p> <p>大きい点数をねらうぞ！</p>   
-------------	---

<p>ご家族の声</p>	<p>【ドリームルーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・zoomにてダンスを教えていただき、娘にとって新鮮でとても楽しい体験だったようです。たのしく優しく教えてくださりありがとうございました。出来ることが増えていくことは本人も楽しいみたいです。ぜひまたダンスレッスンに参加させてください。 ・外に出て参加できる活動が少ないので、ドリームルームのように、本人の状況に合わせて個別に対応していただき、活動に参加できるドリームルームのような場所があると本人も安心して楽しむことができ、親も嬉しく思います。 <p>【学習支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院によって遅れた学習についてなんとか取り戻せれば、と思っていますが、個別に本人の状況に合わせて学習支援してもらうことは、とても心強いです。本人も体調が悪く欠席となる日もありますが、自身が学びたいことを決めて積極的に取り組んでいます。
--------------	---

<p>学習支援員 の声</p>	<p>毎月ドリームルームで行う活動について、季節を感じられるものや、参加される方が楽しめるものを、ということで考え設定しています。頭を悩ましながら身近なもので作成できるものを工夫して取り入れています。また、来られた方が楽しめるよう、本人が望む遊びを行っています。参加された方から楽しかった、また参加したい、などのお声をきくとやりがいを感じます。病気のあるこどもも安心して遊べる場がもっと広がるとよいと思います。</p> <p>【学習支援担当】</p> <p>学習支援は対象者の状況に応じてコミュニケーションをしやすくするために文字盤を用いる、楽しんで行えるよう音楽や運動を取り入れるなど試行錯誤しながら行っています。ときには学習で用いるテキストの答えが支援者も分からずにその場で一緒に調べ学びながら行っています。毎回どのような教材を使うか、そのように進めるか悩みながら行っていますが、本人が「わかった」表情を見せた時には、こちら嬉しいです。学びは人の成長にとって必要であると感じます。</p>
---------------------	--

事業経営

<p>学費</p>	<p>無料</p>		
<p>学生数と 医療的ケア</p>	<p>【学習支援】13名（2024年9月現在） 気管切開2名、人口呼吸器2名、酸素療法2名、経鼻経管0名、胃ろう2名、吸入2名</p>		
<p>スタッフ</p>	<p>学習支援員（講師）：4名 ドリームルーム担当：職員4名が交代で担当。その他ボランティア登録有</p>		
<p>事業収支 (1年間)</p>	<p>経常収益</p>	<p>経常費用</p>	<p>備考</p>
	<p>寄付 30万円</p>	<p>給与手当 30万円</p>	

訪問カレッジ@キーぼ岡山	所在地	岡山県・岡山市
	代表	真見圭子
	事業開始	2022年6月
	事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設
事業母体	特定非営利活動法人 CAPプロジェクトおかやま 代表理事 山下明美 〒700-0011 岡山市北区学南町1丁目2-16 TEL&FAX:086-253-6778 Email: cap_okayama@hotmail.co.jp HP: https://www.cap-okayama.net/	
事業の発足	2022年6月 訪問部旧担任による卒業生への訪問をきっかけとして在宅訪問を開始	
学習回数等	学習回数は 月1~4回(週1回)。 1回2時間程度(相談による。重度訪問介護事業利用の場合は、3時間以上訪問内で実施。)	
学習内容の例	体の取り組み/音楽 鑑賞・演奏/家政 計画・材料や調理法・調理/天体・生き物 ゲーム(EyeMoTシリーズ、Nintendo Switch)/SNSの活用・発信・写真/日本の旅 視線入力練習・活用、スイッチの適合・スイッチを使った活動 など	
活動の様子	季節の植物「どちらが好み？」 	
	美術「EyeMoT センサーや TuxPaint でのお絵かき」 	
	調理学習「リアルが知りたいクッキング」 	
	両手両足でスイッチを長短押し分けて、ゲーム。さまざまなゲストと交流。その様子を SNS 発信。 	

みなさんからのメッセージ

<p>学生の声</p>	<p>○最初にパワフルプロ野球をしました。6対2で僕が勝ちました。あとポケモンゲームをしました。とても楽しかったです。/カービィボウルとマリオRPGをしました。とても楽しかったです。(学生 Tanioka Hiroaki www.youtube.com/@hiroakitanioka4810)</p>
<p>ご家族の声</p>	<p>○卒業した後にこのような学習の機会があるのはとてもいいことで、育子と先生方との話を聞いていると、家族では気づかない本人の力、できること、など発見があり、おばあちゃんも含めて、家族みんなが学ばせてもらっている時間です。やっぱり大人になっているというか、学校のころとは違うのだなあという発見があります。(赤木育子さんのご家族)</p> <p>○楽しみやレクリエーションを模索しながら過ごしていましたが、限界を感じていたところ。「訪問カレッジ@キーぼ岡山」との出会いは衝撃でした。専門的な知識の提供やICTを活用した生活はこれまでの人生を一変したといっても過言ではないです。わずかな力で稼働できる機器も自宅の隅で眠っていたのですが、活用できるようになったり、オンラインで離れたベッドサイドの友人と対戦ゲームができたり、これまで経験したことのない調理の時間も驚きの連続です。この活動が制度化されることを願っています。(井桁大臣さんのご家族)</p>
<p>学習支援員の声</p>	<p>○「卒業後の時間を豊かに過ごせているかな、訪問カレッジは田舎じゃ無理かな」と思っていたとき、在宅介護支援事業所「ケアサポートくらしき」とご縁ができました。「どんな人にも希望すれば生涯学習を！」という私たちの思いに強く賛同してもらえた喜びが「キーぼ岡山」の推進力となりました。私は「人は、困難の中で感性を研ぎ澄まし、周囲の世界を感じ考えて、生きてきた時間の値打ちを、何かきっかけさえあれば発揮する力がある」ということを担任した子どもたちから学びました。だからこそ今、成人された本人の「心」に耳を澄ませています。私たちの思い込みを、様々なリアクションで「違うよ！」とぶっこわしてくれて、本人の本物の「楽しい」にたどり着いたら、お互いに「やったね！」達成感が共有できたときの喜びが次回へのエネルギーになります。(学習支援員 白神恵子)</p> <p>○私は、自作スイッチや支援機器で自分の力でゲームができるセッティングをしています。好きな野球やロールプレイングゲームに熱中されている姿や笑顔を見ると、私も嬉しくなります。知人を招待してのゲームは、よい出会いにもなり、一緒に楽しめる魅力もあります。本人が楽しみにされているゲームを通して、いろいろな人との交流の輪が広がり、楽しんで過ごせるように今後も支援していきたいと思います。(学習支援員 吉田暁彦)</p>

事業経営

<p>学費</p>	<p>授業料 2000円/回 教材費(実費) ※重度訪問介護事業利用者は教材費のみ自己負担</p>				
<p>学生数と医療的ケア</p>	<p>在宅訪問 7名(2024年7月現在)、生活介護事業所訪問6か所 気管切開5名、人工呼吸器4名、酸素療法3名、胃ろう6名、視覚障害1名</p>				
<p>スタッフ</p>	<p>学習支援員4名</p>				
<p>事業収支(1年間)</p>	<p>経常収益</p>		<p>経常費用</p>		<p>備考</p>
	<p>年会費</p>	<p>円</p>	<p>給料手当</p>	<p>円</p>	<p>・2022、2023年はボランティア(重度訪問介護事業によるヘルパー収入は個人へ) ・2024年4月 授業料制開始 ・2024年5月よりICT支援をしている事業所より講師料収入→事業費へ ・2024年度より 手当開始</p>
	<p>授業料</p>	<p>円</p>	<p>その他経費</p>	<p>円</p>	
	<p>教材費</p>	<p>円</p>	<p>(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消費品・印刷・事務要員・支払手数料等)</p>		
<p>寄付(賛助会費)</p>	<p>円</p>	<p>経常費用計</p>	<p>万円</p>		
<p>経常収益計</p>	<p>円</p>				

訪問カレッジ ビー プラウ 「Be Prau」



所在地	埼玉県・さいたま市
代表	西村 理佐
事業開始	2024年4月
事業形態	①対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業 ②学習形態 <input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン ③訪問先 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> 病院・施設

事業母体	一般社団法人ケアの方舟 埼玉県さいたま市岩槻区 be.prau.1013@gmail.com	代表理事：西村 理佐	lit.link ⇒	お問い合わせ ⇒
------	--	------------	------------	----------

事業の発足 2023年7月重度障害児の母が法人設立後、8カ月間の準備で開校。“I’m proud of you!”
少数派であるがゆえに「見えなくされた人」の存在に光を当て Be Proud of yourself!
共に学び合うことで地域とエンパワメントし合います。 Be the World we can be proud of!

学習回数等 月4回まで 1回2時間 入学式 学生証発行 ご本人主体の「学びMAP」作成

学習内容の例

カレッジの取り組み

- ご本人の主体性/動機づけ
- 丁寧な意思決定支援
- 生涯にわたる「学び」支援
- 「生涯にわたる」生き方支援
- 「社会を生きる人」としての学び

ご本人のカレッジでの目標設定

- 「好き」興味関心、深めたいこと
- コミュニケーション/信頼関係形成
- その時々で変化する興味から学ぶ
- 学びから探る自分の「生き方」
- 「自立した生き方」を探る

指導方針

- ご本人主体の履修計画作成
- カレッジ生活で自己効力UP
- ライフステージに合わせた内容
- 「主体的な生き方」を引き出す
- 「生きる」力を育む

【初回面談での聞き取り(興味関心、深めたいこと)】 + 【丁寧な意思決定支援】 = 【ご本人による履修決定】
8分野にかたよらないような学習計画をご本人が主体となって計画していく。

ブロック	一般教養(理系)	一般教養(文系)	暮らし	家政
1	生物、科学	英語、文学	地域の文化	調理、洗濯
2	数学、物理	読書、歴史	防災について	お金のかけ算
3	化学、地学	音楽、芸術	からだ	校外学習
4	環境、ITC	職業、実務	自立生活	ボランティア
5	キャリア	ニュース、情報	健康、防災	ブルジョア生活イベント
6	キャリア	職業、実務	健康、防災	ブルジョア生活イベント

「生きる」とは
訪問カレッジ「Be Prau」がどんな場所か
「自立について」「支援とは」「履修とは」…カレッジ生の日常やお身体の状態、受けている支援などから深めていく
「お金・契約」…カレッジの授業料のやりとりや印刷、福祉マルシェでの販売経験など
「成人とは」…18歳と20歳のタイミングで 選挙権 マナー 障害年金
「災害と避難」…カレッジ生の災害対策 授業中の緊急対応確認

活動の様子

▲入学式

▶一般教養理系 (地理)

▼校外学習

◀家政 (調理実習)

みなさんからのメッセージ

学生の声

家族の喜び顔がみたい、役に立ちたい！

トマトや紫蘇を育てて収穫し、弟妹のお弁当に彩りに。家族の食卓に

①-1 苗植え作業 植木鉢・ネット底石・土・支柱

①-3 パネルシアターを活用して説明していると、ご兄弟も参加してジャガイモがどこに実をつけるかクイズ大会になった

①-4 ジャガイモの鉢植え 支援員が作ったポテトサラダの写真を見せる→実際に調理実習で何を作りたか考えておいて

①-5 調理実習 ご家庭と相談の結果「ポテトサラダ」に決定 材料の確認（よく見る顔）握る・つぶす・絞る→一つひとつの動作を覚えると嬉しそうな表情。家族から食べた感想を聞いておいてね

振り返って読んだときにご本人が主体になっていたか、必要な支援は何だったかがわかるよう

【足立光さん】学びマップ

情報・ICT
はじめと終わりの挨拶はステップバイステップ
▶棒スイッチを使って
▶釣り大会
▶タンパリン
▶YouTubeで音楽再生

暮らし
①-1 トマトと紫蘇の苗植え

家政
①-5 調理実習「ポテトサラダ」

文化・芸術
①-8 「コンドルは飛んでいく」
①-9 チャフチャスの身で作った楽器演奏

校外学習
季節の花
紫陽花を見に行こう

一般教養（理系）
①-3 トマト&ジャガイモの実のなり方の違い
①-4 ジャガ芋ほり
①-6 トマト原産地南アメリカペルーの地理
①-7 ペルーを代表する鳥「コンドル」

一般教養（文系）
①-2 「トマトの絵本」

からだ
#その日のコンディションや体の声を聞きながら毎回丁寧に取り組む
#声掛けに合わせてご本人が伸ばそうとしたり緩めたりする動きを大切に

Sheet-1 8月8日

ご本人（主体）の願いや興味関心を中心に据え、学習支援員、ご家族、学生ボランティアなどたくさんの方が関わる中で起きる様々な反応、感情のやりとり、場の共有を大切にすすめる。自ずと広がっていく「学びマップ」はご本人の“声”であり、関係性の中で育まれる「学び」から「この広い世界で生きる私」という気付きが得られるように支援します。

ご家族の声

こういった機会を作ってくださいありがとうございます。入学式のようなイベントや自分では手が回らないような学びを行っていただき、張りのある生活が送れています。

特別支援学校では先生の計画でさまざまなことを体験させていただきました。しかし、カレッジは受け身ではダメなんだなと気付かされました。

学習支援員の声

以前、特別支援学校訪問籍で教えている時に、生徒の保護者から『子どもとひっそりと生きていくんだと思っていました。しかし訪問教育を受けて世界が広がりました』というお手紙を頂き、「この子の世界を広げたい！」という思いがずっとありましたが、高等部卒業後のその方の人生をイメージすることは難しかったです。昨年訪問カレッジ「Be Prau」の活動を知り「彼ら彼女らの世界を広げることができる！」と参加させて頂きました。学校教育とはまた違った立場でカレッジ生の社会生活に関わることができ、また自分自身の“学びの場”となっています。久しぶりの授業はととてもワクワクします。このワクワク感をカレッジ生と分け合い共に学び合っていきたいと思っています。（学習支援員：三與木嘉代子）

事業経営

学費	年会費 6,000 円 授業料 1 回 3,000 円 教材費 6,000 円			
学生数と医療的ケア	カレッジ生 1 名 プレカレッジ生 2 名 (2024 年 8 月現在)			
スタッフ	学習支援員 6 名 マネジメントチーム 3 名 毎月「学習支援員ミーティング」を開催			
事業収支 (1 年間)	経常収益		経常費用	備考
	年会費	円	給料手当	円
	授業料	円	その他経費	円
	教材費	円	(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消 品・印刷・事務要員・支払手数料等)	
	寄付 (賛助会費)	円		
	経常収益計	円	経常費用計	万円

障害の重い人の地域支援： ふりかけプロジェクト	所在地	兵庫県・明石市
	代表	十田朋也
	事業開始	2023年4月
	事業形態	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 学齢 <input checked="" type="checkbox"/> 卒後 <input checked="" type="checkbox"/> ②学習形態 <input checked="" type="checkbox"/> 集合 <input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> ③実施場所 <input type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 病院・施設
事業母体	明石市立ゆりかご園 施設長 飯塚由美子 〒674-0051 兵庫県明石市大久保町大窪 2752 ゆりかご園 電話：078-918-5574 FAX：078-918-5579 Email：yurikago@sandaya.or.jp HP：https://yurikagoen.com/	
事業の発足	2022年冬、園の相談支援担当職員が、医療的ケア者には、余暇活動の選択肢が少ない（ない）と相談を受けたことがきっかけ。	
学習回数等	年4回程度（春、夏、秋、冬）。1回1～2時間程度。 通年の参加ではなく、参加者が企画を選択して参加する。	
学習内容の例	プール／ボクシング体験会／嚥下調整食事試食体験会／視線入力装置体験会など	
活動の様子	■プール 	■ボクシング体験会 
	■視線入力装置体験会 	■嚥下調整食事試食体験会 

みなさんからのメッセージ

学生の声

私はふりかけプロジェクトの運営会議に参加するようになりました。この会議に参加するようになって、自分の中での変化に気づきました。これまでは、相手の意見を聞いているつもりであっても、自分の主張が強すぎて、タイミングよく人の会話に入ることができていなかったということです。それが、会議を重ねるごとに、自分の意見について、一呼吸おいて人に伝えることができるようになりました。それはちょうど大縄跳びに入り、みんなで一緒に跳んでいるような感覚でした。夏に、これまでの活動について、自分の声で、全国障害者問題研究会全国大会で報告しました。遠かったですが、とても良い経験となり、楽しかったです。（参加者 石井悠也さん）



ご家族の声

ボクシングは、テレビの世界で、一生関わることはない世界だと思っていたが、ボクシングを子どもに合わせることで視点を変えた楽しみ方を発見できました。今後も、先入観を持たず、新しいことにも挑戦したいです。（保護者）
無理だと思っていたことができたので、子どもの成長を感じました。（保護者）
初めてでもサポート次第で様々なことに挑戦できそうな気がしています。（保護者）

学習支援員 の声

・どんな障害でも助け合いの気持ちを持てば配慮に特別な技術は不要であることを実感した。子どもたちにはチャレンジする機会を増やす応援団になりたいです。（企画の講師）
・地域の様々な場所で活動する際、この企画を理解し受け入れてくださる協力先があるのか心配していたが、全て快く協力してくれている。もっと当事者と一緒に外に出て、啓発していく大切さに、プロジェクトの運営を通して気づくことができた。（運営に関わる職員）

事業経営

学費	年会費なし 授業料なし 教材費なし				
学生数と 医療的ケア	36名（2024年7月現在） 気管切開6名、人工呼吸器3名、酸素療法4名、経鼻経管2名、胃ろう8名、導尿2名				
スタッフ	学習支援員10名 1カ月に1回「プロジェクト企画運営に関する会議」を開催				
事業収支 (1年間)	経常収益		経常費用		備考 その他必要経費は当園の自主事業経費で補填
	年会費	0万円	給料手当	0万円	
	講師委託料	3万8千円	その他経費	2万円	
	教材費	0円	(通信・賃借・保険・修繕・水道光熱・消 品・印刷・事務要員・支払手数料等)		
	寄付(賛助会費)	5万円	経常費用計	2万円	
	経常収益計	8万8千円			

■重度障害者・生涯学習ネットワーク 団体一覧

(2024年10月1日現在)

	事業名	事業者名	法人等の 代表者名	事業代表 ・連絡先	事務局所在地
①	日野市障害者訪問学級	日野市障害者問題を 考える会	名取 潮子	大石 恒子	東京都・日野市
②	訪問療育いるか	NPO法人かすみ草	早野 節子	栗山 弘子	東京都・杉並区
③	訪問カレッジ@希林館	NPO法人地域ケアさぽー と研究所	飯野 順子	下川 和洋	東京都・小平市
④	ひまわりHome College	NPO法人ひまわりProject Team	藤原 千里		東京都・新宿区
⑤	訪問大学おおきなき	NPO法人訪問大学 おおきなき	相澤 純一	田中千加子	東京都・大田区
⑥	訪問事業 i.porte(あいぽると)	NPO法人あいけあ	岡安 玲		神奈川県・川崎市
⑦	訪問カレッジ静岡	静岡県障害者就労研究会	瀬戸脇 正勝		静岡県・静岡市
⑧	在宅訪問学習支援事業 「SHJ学びサポート」	認定NPO法人スマイリン グホスピタルジャパン	松本 恵里	松本 健太郎	東京都・杉並区
⑨	みんなの大学校	一般社団法人 みんなの大学校	引地 達也		東京都・国分寺市
⑩	訪問カレッジ Enjoyかながわ	NPO法人フュージョンコ ムかながわ・県肢体不自 由児協会	成田 裕子		神奈川県・横浜市
⑪	訪問カレッジ・オーブ ンカレッジ@愛媛大学	国立大学法人 愛媛大学	大橋 裕一	苅田 知則	愛媛県・松山市
⑫	—	NPO法人こどもホスピス プロジェクト	佐藤 良絵		東京都・昭島市
⑬	—	医療型障害児入所施設 カリヨンの杜	鍵本聖一	福島 健	埼玉県・さいたま市
⑭	訪問カレッジ @キーぼ岡山	特定非営利活動法人 CAPプロジェクトおかやま	山下明美	真見圭子	岡山県・岡山市
⑮	訪問カレッジ Be Prau	一般社団法人ケアの方舟	西村理佐	西村理佐	埼玉県・さいたま市
⑯	障害の重い人の地域支援 ふりかけプロジェクト	明石市立ゆりかご園	飯塚由美子	十田朋也	兵庫県・明石市
⑰	—	特定非営利活動法人合	田井寿美江	田井寿美江	埼玉県・越谷市

●重度障害者・生涯学習ネットワークに関する質問等は、下川へメール(ccsupport@jcom.home.ne.jp)で
お願いします。

●訪問型生涯学習支援事業の希望や寄付等は各団体に直接ご連絡下さい。